

## ビームラインアシスタントを終えて

修士課程 2 年 北谷友也

E-mail:kita@biochem.osakafu-u.ac.jp

私は 2002 年の 5 月から 6 月にかけてビームラインアシスタントをさせていただきました大阪府立大学 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 修士 2 年の北谷友也です。現在、研究は大学内の先端科学研究所で行っています。研究テーマはラン藻の光合成に関与する酵素についての結晶構造解析および機能の解明を行っております。



アシスタントとしての 3 週間というのは、あっという間に過ぎてしまった様に思います。つくばに行く前から、「3 週間もの間、本当に自分にアシスタントが務まるのだろうか」と不安を感じつつドキドキしながら、準備していたことがまるで嘘のようです。実際、アシスタントの期間は、ビームアライメントや、他のユーザーの方の実験を拝見したり、予備日など空いてる時間に自分のサンプルを測定させていただいたりと毎日が勉強といった感じで、本当に充実した生活を送れました。特に、測定については鈴木先生のご好意により、導入したばかりの R-AXIS (FR-D) を使わせていただき、常に測定に取り組めたのは本当に有難かったです。さらに、坂部先生や鈴木先生をはじめとして色々な方から構造解析についてのお話やアドバイスが聞けた事がさらにアシスタントの期間をより実りあるものにしていてと思います。食生活の面でも鈴木先生や松垣先生、坂部先生ご夫妻に食事に連れて行っていただいたりと普段の食生活よりもいい位で、体にも実りがついてしまいました。たった 3 週間という間でしたが、その間に経験したことは今後の研究生活において、とても有意義なものだったと確信しています。

最後になりましたが、坂部先生をはじめ、SBSP の皆様、PF のスタッフの皆様、三菱電機や理学電機の皆様、本当にありがとうございました。また、機会がありましたら是非お手伝いをさせていただきたいと思います。